



富田林市五軒家

つかもと あきひろ
塚本 昭宏さん (44)

樹木医。造園、植木業を営む。

現在、さつき造園 代表

1級造園技能士、
1級造園施工管理技士の資格を持つ。

資格を持ったことで仕事の幅が広がり、樹木診断・治療はもちろん、樹木に関する講演会・講習会の依頼も増えました。時には古木の治療も行っています。

現在、奈良にある室生寺の樹齢400年の「淡墨桜」を治療中です。木を元気にするには、元気な良い根を張らすことが重要ですので、桜の周りの土が踏み固まらないように通路に木橋をついたり、土の改良をしました。

枝や根の腐った部分は切除し、状況に応じて薬剤を用います。診察・治療への真剣な取り組みは、「人間」も「桜」も変わりありません。

毎年桜が沢山の花を咲かせ、多くの参拝客に喜んでいただけるよう頑張っています。「樹木」という生き物を扱うので、植木屋の経験と樹木医の知識を合わせ、木と向かい

合っています。

また2年前に開設した、さつき造園のホームページを見てくださった方からの注文依頼が増えました。昨年はベトナムの日系企業から「会社の庭園用に日本の黒松がほしい」と注文があり、植木を輸出する事になりました。

メールでの樹木診断や治療の依頼も多くなり植木以外にも観葉植物や鉢植え、果樹など、相談内容は様々です。

■JAへのご意見はありますか？

今、問題となっている地球温暖化や節電対策など、環境、エコへの取り組みにはやはり「緑」が大切だと思います。今の子供たちの時代に、もっと緑あふれる街にするため、JAから国や自治体に緑化推進を提案して欲しいと思います。



貴重な緑の財産を 未来へ伝えたい

室生寺の桜を診断している塚本さん

■植木、造園を始められたきっかけは？

大学を卒業後、銀行に勤めていましたが、祖父の希望もあり、家業の造園・植木業を継ぐことにしました。曾祖父が明治の頃から植木業を始めていたもので、四代目になります。

五軒家地区は黒松の生産で有名で、最盛期には地元の五軒家園芸組合員は80人を越えたそうです。

しかし最近では、洋風の家やマンションが増えるなど、住宅事情の変化で、黒松のような大きな植木は売れなくなってきました。植木需要の減少に伴い、五軒家地区でも造園業の後継者が減っています。

植木業界が不況で、従来の仕事のやり方では将来の成長は見込めないと思い、経営に関してご指導いただいている方より、「樹木医」の資格を取ってはどうかとアドバイスをいただきました。大変難しい資格と聞いていましたが、勉強強い挑戦した結果、合格することができました。

■樹木医について教えてください

樹木医は、樹木の診断や樹勢回復、保護育成を行う専門家です。言葉を話せない樹木からのシグナルをキャッチし、樹木の健康状態を診断します。

樹木医数は、昨年12月現在で全国で1909名、大阪では96名います。私は7年前に資格を取得しました。



さつき造園 ホームページ紹介

樹木の治療実績、販売に関するなども掲載しています！

さつき造園

検索

URL <http://www7.plala.or.jp/satsuki-zouen/>

